

耐薬品性・耐液性試験

責任者	主担当者	担当者
	作 間	廣 作 友 間

1. 分析試験の目的・内容

ご提供のコーティング試料について、耐液体性試験を行う。

2. 試料

グットライコート クリスタル
グットライコート 光
グットライコート 松
グットライコート 竹

計 4 試料

3. 試験項目

耐液体性試験

4. 試験方法

耐液体性試験

- ・試験規格 : JIS K5600-6-1:2016 方法1 (浸せき法) 参考
試験片サイズが規格と異なる。
- ・状態調節 : 23℃、50%RH 雰囲気中で16時間以上保管した。
- ・試験液 : トルイン (試薬特級 富士フイルム和光純薬(株)製)
- ・試験温度 : 23℃
- ・試験片形状 : 約 150mm×70mm×5mm ; 貴社支給品
- ・n数 : 1
- ・試験方法 : 1) 試験片をそれぞれが接触しないよう30mm以上離して
容器に入れ、試験片が垂直になるよう治具で保持する。
2) 試験片が完全に浸かるよう、十分な量の試験液を容器に
入れる。
3) 試験液をスターラーで循環させながら、24時間浸漬する。
4) 取り出し後、試験片の表面に残っている試験液を除去し、
JIS K5600-8-2 に従い、試験片の膨れ又はその他の損傷
を観察する。
5) 試験片の膨れ又はその他の損傷を観察してから24時間、
回復期間として静置する。
6) 静置後、再び試験片の膨れ又はその他の損傷を観察する。
7) 手順3)～6)を2回目として実施する。

5. 試験結果

試験結果を表-1に示す。

表-1 耐液体性試験結果

試験実施日	開始日	取出日
	2018年6月4日	2018年6月8日

表-2 外観観察結果

試料名	1回目		2回目	
	浸漬直後	回復期間後	浸漬直後	回復期間後
グットライコート クリスタル	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし
グットライコート 光	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし
グットライコート 松	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし
グットライコート 竹	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし

以上